

ワークショップ4

協力団体との連携

～ライオンズクラブ等の紹介による献血セミナー～

藤田嘉秀(兵庫県赤十字血液センター)

1. はじめに

超高齢社会は、ライオンズクラブ(以下「LC」)等、ボランティア団体の活動にもさまざまな影響を与えている。会員の高齢化や減少が著しい中で、組織や活動の活性化をはかり、新たな事業展開を進めている団体も多い。

今後のボランティア団体との連携については、互いに尊重し感謝の気持ちを持って「共生する」考え方で進めることが重要である。

以下、2014年9月から兵庫県赤十字血液センター姫路事業所(以下「姫路事業所」)で行っている、主にLCを介した献血セミナー(以下「セミナー」)の実施について紹介する。

2. LCを介したセミナーの実施

姫路事業所の担当エリアは人口約131万人の播磨地域で、兵庫県の中でも少子高齢化や過疎化が著しい地域である。また、近年は医療の高度化や病院の統合が進んでおり、それらに対応するため、喫緊の課題は若年層献血の推進である。

現在、全国的にさまざまな若年層推進の施策がなされているが、教育の場で献血を取り上げてもらえることの意義や、そこから地域社会に波及する多くの効果が期待できることから、姫路では施策の中でもセミナーが基盤になると考え、これを重点的に取り組むこととした。

2011年から実施しているセミナーは、県から依頼文が出され応諾があった高校に出向く方法であった。しかし、この方法だけでは実施校の増加が期待通りに進まず、これと併せて行う方法を模索していた。

そこで考えついたのが、長年の間、献血推進でお世話になり、地域社会と深いつながりのあるLCとの連携であった。

LC335-D地区は人口約170万人の播磨、但馬地域を活動エリアとしている。高齢化や人口減少等がLC活動や組織運営に影響を与えていたが、住

みよい社会をつくるために、一所懸命、奉仕活動に取り組まれている。献血活動は1977年から始められ、2015年度の地区全体の献血者数は135百人で、このエリアの総献血者数の内26%を占めている。

LC335-D地区的活動には歴史と実績があり、地域に絶大な信用と人脈を築かれている。とくに活動の内でも「青少年の健全育成事業」には各クラブとも尽力され、教育機関や教育関係者と深いつながりがある。それをセミナー実施につなぐため、高校や中学校の関係者の紹介を依頼した。

地区では毎年、年度初めに「LC335-D地区献血委員長研修会」を開催している。2014年度の地区方針として「各クラブの例会に血液センター職員を招き献血説明会を開くこと」と「若年層献血の推進に積極的に協力すること」が打出された。(この年は地区65クラブのうち37クラブの例会を訪問した)

2014年9月に訪問した加古川東LCでセミナーの必要性を訴えたところ、会員の一人が即座に加古川市教育長との面談の予約を取ってくれた。面談の結果、市校長会に出席することができ、その後、市内12中学校の戸別訪問を経て、年度内にLC紹介による4中学校820人の生徒を対象としたセミナーを実施することができた。

LCによる教育関係者の紹介から、セミナー実施までの標準的な流れは(図1)のとおりである。

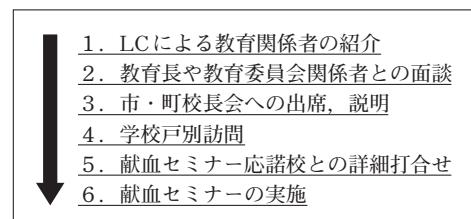


図1 LC紹介献血セミナーの標準的な流れ

この方法で他のLCにも依頼したところ、2015年度では7LCの紹介による15中学校、3高校の計5,110人を対象にセミナーを実施することができた。また、他からの紹介や、継続校などを加えたセミナー総数は、合計29校の8,680人となった(表1)。

2015年度にLCからの紹介を受けたセミナーの状況は(表2)のとおりである。紹介を受けても、実施できない場合もある。また、姫路市の中学校では7校を戸別訪問後、すぐに4校からの応諾があり、その時点できれいなセミナースケジュールが限界になったため、以降の30校の訪問を打ち切った事情がある。

3. 2016年度セミナー状況とまとめ

姫路事業所エリアでのLCを介したセミナーは2016年度も順調に進んでいる。従前からの継続校や、教諭の口コミなどで広がった新規校も増え、

9月で2017年3月までのスケジュールが限界になった。

セミナー紹介の動きはロータリークラブやロータリーアクトクラブにもおよんでいる。そして若年層献血の支援は姫路市商店街連合会などにも広がっている。

セミナーは教育的効果や献血推進上の波及効果があり、若年層献血推進の基盤になると考える。セミナーを見学したLC会員からは「若者に向けた活動にはやりがいを感じ、自分たちも元気が出る。」や「セミナーを受けた子が将来、自分たちの献血会場に来てくれたなら、こんなにうれしいことはない。」等の意見も聞く。

今後もLC等の紹介を受けたセミナーに真摯に取り組み、献血思想を例に「助け合いの社会」や「青少年の健全育成」につながるようなセミナーを進めたい。

表1 LC紹介の献血セミナー実施状況

姫路事業所エリア						
年 度	2011	2012	2013	2014		2015
実施校数	高校 5	高校 11	高校 8	高校 7	高校 12	
				中学 4	中学 17	
				計 11	計 29	
生徒数 (人)	高校 1,400	高校 4,170	高校 1,770	高校 3,400	高校 4,370	
				中学 820	中学 4,310	
				計 4,220	計 8,680	
LC紹介				1 LC	7 LC	
※上記の内数				4 中学	15 中学	
					3 高校	
				計 820人	計 5,110人	

表2 2015年度LC紹介の献血セミナー

姫路事業所エリア					
学校	市・町	LC	紹介校数	実施校数	生徒数(人)
中学校	姫路市	A	37	4	760
	加古川市	B	12	6	2,105
	たつの市	C, D, E, F	7	4	845
	太子町	G	2	1	210
	加西市	H	4	0	0
高校	姫路市	A	4	3	1,190
合 計		8 LC	66	18	5,110

※表の内、紹介校数は紹介が教育委員会を通じていることから、市立高校や市・町立中学校のすべての校数としている。